

めぐニュース

かぐめよし少年自然の家だより 令和6年10月発行

所の前には、川が流れている。紫川の源流である。所より200メートル程遡ったところに、紫川の起点の石碑が建つ。山の神川と吉原川が、合流したところである。夏場に、所を訪れた子どもたちは、冷たい清流で魚を追いかけ、沢蟹と戯れる。しかし、水につからずに河原の石を、一心不乱になって手に取る子どもの姿もよく目にする。何を探しているのか・・・「幸せの石」である。

かつて、頂吉では金や銅の採掘が行われていた。付近にはそれが由来と思われる地名が残っている。福岡県企救郡誌によると寛永11、2年（西暦1634、5年）頃より鉱山があったと記述がある。また明治には全盛の頃、一日平均600斤、年間平均21万9千斤の銅が採掘されたとある。1斤は160匁、1匁は約3.75gなので1斤約600g。ということは一日なんと360kgもの銅が採れていた計算になる。戦後まで採掘が行われ、所の前の山には団地があり、鉱山に関わるたくさんの方が住んでいたらしい。今は大きな木が生い茂る山の中に、家の基礎や茶碗のかけらなど往時の名残が見られる。

銅を含む鉱石を採掘したあとに、銅だけを取り出すため精錬という作業を行う。銅以外の成分が溶けて固まったものを鉱滓と呼ぶ。この鉱滓のかけらが今も川に残っている。地域の方によると、昭和になってからは、ここでは精錬をおこなっていなかったとのことで、今なお川に残る鉱滓は江戸時代か明治時代の産物かと思いを馳せる。

この鉱滓のかけらを所では「幸せの石」と呼び、皆で探す。なかなか見つからないが、見つけたとちよっぴり幸せな気分になる。今までに、いったいどれだけの子どもたちが、この小さなかけらを見つけて声をあげたことだろう。頂吉の歴史のつまった「幸せの石」・・・探しにきてみませんか？

主催事業のお知らせ 11月～1月

	事業名	時期	対象者・人数
11月	第2回はじめての陶芸教室	11月4日(月・振)	1回目の参加者
	第4回かぐめよし自然少年団	11月9日(土)～ 11月10日(日)	かぐめよし自然少年団に所属する団員
	市民センター職員等研修会	11月22日(金)	市民センター職員等
12月	クリスマスリース作り	12月8日(日)	小・中学生とその保護者7家族
	ぺったんぺったんお餅つき	12月14日(土)～ 12月15日(日)	小・中学生とその保護者15人
	第2回ボランティア研修会	12月22日(日)	施設ボランティア
1月	第5回かぐめよし自然少年団	1月11日(土)～ 1月12日(日)	かぐめよし自然少年団に所属する団員
	親子でワクワク！工作教室	1月19日(日)	小・中学生とその保護者5家族
	放置竹林対策事業	1月26日(日)	大人(18歳以上)10名

※主催事業の募集は全て市政だよりに掲載します。応募は市政だよりをご覧ください。お申込み下さい。

頂吉凶鑑 ～第37回～

楓（カエデ）



今回ご紹介するのは、楓（カエデ）です。実はこの稿を起こしている日に、所の愛犬が急逝しました。その愛犬の名がカエデでした。令和2年12月に保護犬だったカエデを引き取りました。所に色づいた楓の葉が残っていたことからカエデと名付けました。4年近く皆に愛され過ぎてまいりましたが、急に体調を崩し逝ってしまいました。とても臆病な犬で、自分が踏んづけた枯れ葉や枝の音にも驚いていましたが、散歩が大好きで、モグラの穴を見つけると鼻を突っ込んだり、穴を掘ったりと可愛らしい犬でした。今回は、カエデを偲んで、楓（カエデ）の木のお話を少し。

名前の由来は、葉の形がギザギザに切れ込んでいるのを、カエルの手に見立て カエルテからカエデになったという説が有名です。

カエデには種類が多く、私も見分けに自信がありません。所内にはイロハカエデ、サイクリングロードに出るとすぐ、コハウチワカエデがあります。街路樹や公園には、よくトウカエデが植えられています。メープルシロップで有名なのはサトウカエデ。樹液が甘いから砂糖カエデとなったと言われています。

また、カエデのことをモミジと呼んだりしますが、これはモミヅという古語に由来します。モミヅは紅葉づと書き、文字通り紅葉するという意味です。カエデの木の紅葉が特に美しいことから、紅葉する木の代表格としてモミジと呼ぶようになったそうです。

カエデのように切れ込みが深い葉を持つ植物に、モミジ〇〇という名がついているものもあります。頂吉では、モミジバウリノキ、モミジカラスウリ、モミジバフウなどがあります。

所のイロハカエデには今、たくさんの実がなっています。カエデの仲間は、風散布型の種子で羽根がついています。これを翼果といいます。イロハカエデは二つの種子がくっついて、プロペラのように見えます。晩秋に風にくるくると舞いながら飛んで行きます。

実がたくさんなるなら花は？4月に赤紫色の可愛らしい小さな花が咲くのですが、あまり目立ちません。是非、来年はカエデの花を探してみてください。

北九州市立かぐめよし少年自然の家

住所：〒803-0267

北九州市小倉南区大字頂吉451-1

電話：(093)451-3111 FAX：(093)451-3133



Facebook



Instagram





主催事業報告



水環境体感キャンプ



8月4日～7日にかけて、北九州のシンボルリバー、「紫川」を遡る、水環境体感キャンプを開催しました。酷暑の中、桜橋から最上流部を目指して団員15名とスタッフで、力を合わせて歩きました。途中、何度も滑ったり、流されたり、足がつかない箇所は泳いだり…。過酷な道のりでしたが、みんな弱音を吐かず、全員が最上流部まで踏破しました！

この経験を通して、困難を乗り越えることが出来る人に育ってほしいと思います。

第3回かぐめよし自然少年団

本来であれば、8月31日～9月1日の1泊2日で行う予定でしたが、台風10号の影響もあり、9月1日の日帰りでの開催となりました。午前中にかぐめよしダムカヌー、午後は本物川体験と紫川を1日満喫できる活動に、団員たちの楽しい笑い声が紫川源流域に響き渡っていました。



紫川だれでもカヌー

今回で23回目を迎えた紫川だれでもカヌーは39名の方に参加していただき、9月23日に開催いたしました。カヌーだけでなくサップも登場。サップには数人が乗り、息を合わせて漕いでいました。また、生き物を採るのに夢中になった人達もいました。陽射しは強かったものの、テントの中で美味しいカレーをいただき、午後の活動も元気いっぱいでした。参加者はもちろん、様々な団体同士も仲良くなれた1日でした。



第1回はじめての陶芸教室

今年の陶芸教室には4家族13人の参加となりました。まずは来年の十二支の「巳」の土鈴を各々作成しました。次は紐づくりで湯呑み、またはカップを作成。いずれも個性あふれる仕上がりになりました。



最後はたたらづくりで各家庭で1枚の大皿を協力して作成しました。しばらく乾かした後、所で素焼きをします。次回11月4日は釉薬付け。どのような仕上がりになるのか楽しみです。

第2回観天望気学習キャンプ

10月12～13日好天に恵まれた先週末、第2回観天望気学習キャンプを開催しました。お天気に興味のある小学生5・6年生6人で、頂吉ダム周辺の散策をしながらの空の観察や、実験を通してお天気のことを学びました。学年が近いこともあって、みんなすぐに仲良しに。実験中もみんな協力しながらワイワイガヤガヤ。賑やかな2日間を過ごしました。

みんな、お天気博士になれたかな？



※7月13日に予定していました「親子でかぐめよしダムカーヌー」、9月21～22日に予定していました「家族でキャンプだホイ！」は荒天予報のため中止致しました。

お世話になりました

玄海青年の家



樋口 昭雄 (ヒゲリ-ノ)

かぐめよしに配属されて、早7年半。とうとう異動する日が来ました。思い返すと机上の仕事に追われ、なかなか外仕事に行けなかった（行かなかった？）日々でした。そして本当に自然豊かな場所だったんだなあと今更ながら強く感じ始め、寂しさが日々膨らんでいきます。特に帰宅中、体長2m弱の牡鹿に道を塞がれ、ビビったこと2回、忘れられません。この先も、かぐめよしで経験したことを活かして玄海青年の家で頑張ります。それでは。